

平成 29 年度 取石認定こども園 事業報告書

1. こども園の運営

- (1) 名称 取石認定こども園
- (2) 所在地 大阪府高石市取石 3 丁目 4 番 64 号
- (3) 運営主体 社会福祉法人 徳友会
- (4) 定員 認可定員 1 号認定 95 名 2 号・3 号認定 140 名 計 235 名
 利用定員 1 号認定 90 名 2 号・3 号認定 120 名 計 210 名
- (5) 平成 29 年度 教育・保育延べ人数

認定区分	年齢	延べ人数 (人)	月平均 (人)	利用定員に対する充足率
1 号	4、5 歳児	828	69	113.7%
	3 歳児	400	33.33	
2 号	4、5 歳児	569	47.42	107.1%
	3 歳児	253	21.08	
3 号	1、2 歳児	554	46.17	
	0 歳児	166	13.83	
合計		2,770	230.83	109.9%

(6) 教職員の状況

園長 1 名 副園長 1 名 主幹保育教諭 2 名 保育教諭 33 名 看護師 1 名 子育て支援員 1 名

事務員 1 名 保育補助員 5 名 栄養士 1 名 調理員・調理補助員 3 名

嘱託医・嘱託歯科医・嘱託薬剤師 5 名 (人数は非常勤職員及び産休、育休中職員を含む)

(7) 教育・保育時間

① 開園日・時間

月曜日～土曜日 (祝日、12 月 29 日～1 月 3 日を除く)

7:00～21:00 (延長保育事業の実施)

② 教育・保育時間

1 号認定児・・・教育標準時間 8:30～14:30

2 号・3 号認定児・・・保育標準時間 7:30～18:30

保育短時間 9:00～17:00

2. 教育・保育設備

敷地面積.....3806.61 m² (実測値) (法人所有地 960.61 m² 借地 2846.00 m²)
こども園舎.....鉄筋コンクリート造り 2階建て こども園舎建面積... 1062.17 m²
延べ面積.....1824.43 m² 屋外遊戯場.....1667.14 m² (実測値)

3. 教育・保育の目標

一人一人の個性を大切にしながら、家庭と力を合わせ、子ども達の健やかな成長や発達を促すと共に、友達や保育者と一緒に生活しながら、自分で行動する意欲や態度、友達を思いやる心を育むことを目標に実践した。

4. 日常保育

児童の年齢に応じたデイリープログラムを園長・主幹及び保育教諭が協議して定めた。但し、2号3号認定児においては、おやつ・午睡等は、必ず含まれるように実践した。尚、1歳児保育については、国最低基準を上回り、乳児概ね5人に1人以上の保育教諭に配置した。

5. 特別教育・保育

- A・温水プール指導.....3歳児以上...ウイングススポーツクラブ
概ね週1回、(6・9～11月で計10回)
- B・器楽指導.....3歳児以上...(株)M-style 宮地雅彦氏.....概ね月2回実施
- C・体育指導.....3歳児以上...志儀竜也(法人体育指導員).....概ね月2回実施
- D・英語指導.....4歳児以上...(株)ECCジュニア.....概ね月2～3回

6. 延長保育事業(一般型)

こども園に通う認定を受けた園児が、やむを得ない理由により通常の利用日及び利用時間帯以外の日及び時間において、保育を必要とする場合に、その園児を受け入れて預かり、保護者が安心して子育てができる環境を整えた。

年間利用人数 7:00～7:30・・・99人
 18:30～21:00・・・518人

7. 苦情解決の取り組み

園の苦情解決の仕組みや、苦情解決責任者・担当者・第三者委員を保護者に書面にて公表・配布すると共に、意見箱を常設し、園に対する要望や苦情を自由に投稿できるシステムにしている。又、保護者会役員との意見交換会を年 5 回実施した。園全体に関わる苦情や要望については、個人情報に配慮しつつ、入園式や保育参観時、全保護者を対象に園長より説明を行っている。尚、平成 29 年度中に保護者から口頭や連絡帳等を通じて寄せられた意見や要望事項は次のとおりであった。

- ・お盆期間に出席予定だった保護者に対し、連絡ミスから職員が欠席予定と勘違いし、布団等の荷物を持って帰るようお願いしたことが不快だったとの苦情… 1 件
- ・他児とのトラブルでケガをしたので、職員を増やして見守りを強化してほしいとの要望… 1 件
- ・他児の不注意で本が当該児の目に当たり充血した際、保護者に状況説明の上家庭での経過観察をお願いしたところ、相手の子にケガを負わせたことを伝えてほしいとの苦情… 1 件
- ・送迎バスが駐車場で暖機運転をしている際の排気ガスに対する苦情… 1 件

いずれのケースも担当保育教諭・主幹保育教諭（状況によっては園長及び園長代理）が直接保護者と面談・説明し、十分に納得して頂いた上で解決している。

8. 職員の資質向上に関する取り組み

質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図ることに重点を置き、職員研修に取り組んだ。

特に職員会議では、職員自らの品性と人格陶冶に努めるため、園長の訓育や資料として使用している「ニューモラル」を通じ、職員一人一人の倫理観、人間性並びにこども園職員としての職務及び責任の理解と自覚の啓発を図った。また、園全体の教育・保育の質を高めるため、園外研修で学んだことを他の職員に伝達し、教育・保育の専門性を高めると共に、教育・保育実践やその内容に関する職員の共通理解を図り、協働性を高めた。

園外研修・・・年 73 回 延参加人数 151 人

職員会議・・・週 1 回（園内研修含む）

給食会議・・・月 1 回

保健会議・・・月 1 回

週案会議・・・週 1 回

月案会議・・・月 1 回

9. 地域子育て支援自主事業

- イ 育児相談・助言 毎月第2・4火曜（10：00～12：00）
場所：こども園 件数：132件
- ロ 乳幼児健康講座及び健康相談 年2回
場所：こども園 人数：計親子8組
小児科専門医により、季節に応じた乳幼児のかかりやすい病気の予防と対策、身体の成長についての心配ごとなど、乳幼児の健康に関する相談も同時に行った。
- ハ 園庭解放 1期3ヶ月で6～10回、年間3期で計25回実施
場所：こども園園庭 実参加延べ人数：551人
- ニ 親子教室 年16回実施
場所：こども園 実参加延べ人数：436人
- ホ フリースペース 年16回実施
場所：こども園 実参加延べ人数：281人

10. 小学校との円滑な接続

本園での教育・保育が小学校以降の生活や学習の基礎の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにする。
又、園児の発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続に向け、地元小学校の児童との交流や、修了児の就学先小学校教諭との意見交換や情報交換の機会を設け、連携を通じ質の向上を図る。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 3月1日（木）加茂小学校担当教諭との意見・情報交換 | 場所：本園談話室 |
| 3月5日（月）取石小学校担当教諭との意見・情報交換 | 場所：本園談話室 |
| 3月7日（火）取石小学校との交流会、体験入学 | 場所：取石小学校1年生教室 |
| 3月9日（木）高石小学校担当教諭との意見・情報交換 | 場所：本園談話室 |

その他の高石市内及び近隣市の修了児就学先小学校とは、3月上旬に電話で意見・情報交換を実施。

11. 地域貢献事業

社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に対する相談活動を活発化し、関係機関との連携を十分に行い、相談活動を行う中で、援護を必要とする方の心理的不安の軽減を図り、また必要な制度、サービスにつなぐことを行う。
そして、生活保護などの既存の制度では対応できない方で、経済的困窮により、医療や介護の必要なサービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用の一部を支援する経済的援助を行う関係機関との連携を図る。

- 実年間利用者1名（内容）幼児を持つ父子家庭の夜間等見守り支援
（連携機関）高石市、大阪府社会福祉協議会、岸和田こども家庭センター